

## 臨床研究のご協力をお願い

### 【臨床研究表題名】

麻酔科考案キャラクター用いた慢性疼痛患者の痛み、感情の変化について

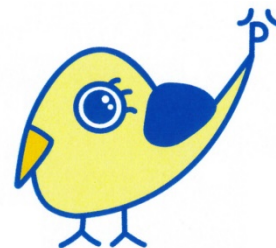
### 【研究目的】

慢性疼痛は難治性の疼痛であり、心理社会的要因が関与するため、神経ブロック、鎮痛剤の投薬など一般的治療では症状が改善しないことが多い。そのために鎮痛剤の乱用につながり副作用で苦しむ患者さんもいれば、高価な商品の購入などに騙されたり、悪い宗教団体に勧誘されたりする患者さんも散見されます。

慢性疼痛は感情の起伏と連動することが多く、これには脳の扁桃体という部分に関与していることが知られています。扁桃体が過剰に興奮すると、不安、怒り、うつなどの精神面での問題が出現するとともに、痛みに対して過敏になってしまうという問題が生じます。

これにたいする対処の方法の一つにコーピングという方法があります。コーピングとはストレスに対して意図的に行動を起こす対処法です。たとえば、ストレスを過剰に感じた場合、外を歩くとか、音楽を聴くとか、瞑想をおこなうとか、思い立ったときにすぐにできて、お金がかからない方法が理想とされています。

今回私たちは痛み、怒りを和らげるキャラクターを開発してみました（右図）。このキャラクターをコーピングに用いて、鎮痛効果、怒りの抑制効を検証するのが本研究の目的です。



【対象】 当院に通院中の慢性痛患者さんが対象です。

右の図にあるキャラクターを1分間見つめていただき、その前後で痛み、怒りなどのスコア（NRS）がどのように変化するかをお渡しする用紙に記載してもらいます。本研究は当院倫理委員会の承認を得ています。

【個人情報の取り扱い方法】 利用する情報からは、名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【研究参加による利益・不利益】 特に侵襲的なことは一切行わないため、副作用、危険性は一切ありません。お金もかかりません。また調査に参加したくない場合でも診察上の不利を受けることはありません。

### 【お問い合わせ】

研究責任者 窪田 武（八戸平和病院 麻酔科・ペインクリニック） 電話：0178-31-2222